



広報せき

関市公式
Instagram



Seki Gocoro

2026

02

No.1780

巻頭
特集

STOP!

そのごみの分別、大丈夫？

環境ポスターコンクール
関市長賞受賞者
おおた ゆづき
太田結月さん



Seki Gocoro 02

SEKI City Community Magazine

TOPICS

関市物価高騰対策事業 6P

市・県民税、所得税の申告受付 10-11P

INFORMATION 16-33P

STOP!

そのごみの分別、大丈夫？



『捨てる』から始まる、私たちの暮らし

皆さんは使わなくなったモバイルバッテリーやハンディファン、乾電池などをどのように処分していますか。

近年、リチウムイオン電池を内蔵したモバイルバッテリーの発火や乾電池の誤った廃棄による火災が発生し、ごみ処理に深刻な影響を与えています。

市では、各回収拠点で集めたごみをクリーンプラザ中濃に搬入しており、同施設においても発火事故は起きています。粗大ごみ処理施設での発火・破裂件数は令和5年度は10件、令和6年度は6件ありました。これらの火災の主な原因の一つとして、リチウムイオン電池が内蔵された製品が挙げられます。

今回の特集では、安全なごみ処理体制を維持するため、適切なごみの分別やリチウムイオン電池の危険性に焦点をあて紹介します。

リチウムイオン電池の危険性と使用上の注意

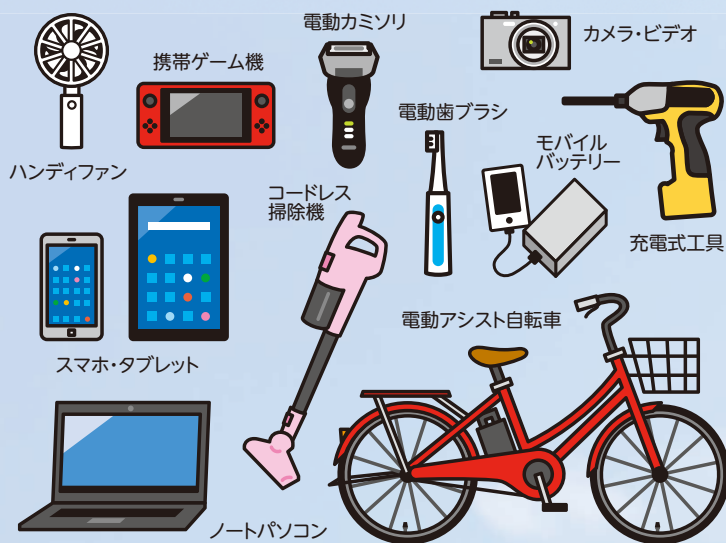
リチウムイオン電池は身近に数多くあります。
リチウムイオン電池を使用する際のポイントは次のとおりです。

- ・強い衝撃や圧力を加えない
- ・高温になる場所では使用、保管しない
- ・充電は、安全な場所で、起きている時に行う
- ・異常を感じたら使用を中止する
- ・発火した時はまず安全を確保し、大量の水で消火する
- ・製品情報、リコール情報を確認する

リチウムイオン電池には右のマークが記載されています。



製品の例



リチウムイオン電池は正しく使用し、適切に管理していても
バッテリーが膨らみ、出火することがあります。



▲実際に膨らんだリチウムイオン電池

寝ていたらパキッと音がしました。確認すると左の画像のとおりになっていました。落とす、高温環境に置くなど、不適切な使用をしていなかったのに驚きました。



▲市内在住Mさん

不適切なごみの混入を防ぐための対策

不燃ごみの収集では、清掃員が全ての不燃ごみの袋を一つ一つ確認し、火災のリスクがあるごみを見つけた場合は、ごみ収集車内で圧縮せずに分別して回収しています。

回収したごみはクリーンプラザ中濃へ搬入され、クリーンプラザ中濃の職員が焼却前に“手作業”で再確認・分別し、火災につながるおそれのある不適切なごみを除去しています。



▲クリーンプラザ中濃職員による不適切なごみの分別の様子



▲収集ごみに混入していた一週間分の不適切なごみ

リチウムイオン電池などの処分方法

市では、使用済みの小型家電、蛍光灯、乾電池、リチウムイオン電池などを365日回収しています。下記の回収拠点に設置してある回収BOXをご利用ください。

回収拠点

市役所1階環境課前、洞戸事務所、板取事務所、武芸川事務所、武儀事務所、上之保事務所、西部支所



▲回収BOX

回収できるもの

- ・モバイルバッテリー ・乾電池
- ・パソコン ・ゲーム機

上記以外にも回収できます。
詳細は二次元コードから。



- ・膨らんだバッテリーなどのリチウムイオン電池は、缶などに入れてから回収BOXに入れてください。
- ・自動車用などの鉛バッテリーは回収できません。購入店や取扱店に引き取りを依頼してください。

ごみ処理の最前線！現場の声を聞く

ごみ処理場で火災が起きると、不燃ごみの場合は復旧に約5か月間かかり、ごみを処理することができなくなります。復旧費は約6千万円必要となります。

特にリチウムイオン電池は、モバイルバッテリーのほか、ハンディファンやゲームなど、身近な製品に使用されています。それらを収集の青い袋に入れてしまうと、ごみ処理施設の火災につながり、皆さんのごみを処理できなくなるおそれがあります。

事故を防止するために、充電できる製品を捨てるときは上記の回収拠点に設置してある専用の回収BOXに入れてください。

ごみ処理が円滑に進むよう皆さんのご協力をお願いします。



クリーンプラザ中濃
主事
かとうよしき
加藤慈樹さん

ライターの回収方法はかなり認知されてきていると感じます。大変ありがたいです。中には、ライターの液やスプレー缶の中身が残っている物がありますので、適切に処理をしてから出していただければありがたいです。

不適切なごみの混入により、ごみ収集車で火災が発生した場合は、119番通報のうえ、安全な場所に停車し、ごみを全て出します。その後、火元確認を行い、消火作業を行うことになります。

不燃ごみはごみ収集する直前に、ごみ袋の中を全て手作業で確認しますが、今後も火災につながらないために適切なおごみの分別にご協力いただきたいです。



清掃事務所
主任運転技手
ながおかずなり
長尾和成さん

リチウムイオン電池以外にも多い出火原因

リチウムイオン電池以外にもライターやスプレー缶も出火原因となることが多いと言われています。正しく分別をしましょう。

ライターの処分方法

ライターのみを別の袋に入れ、燃やせないごみ袋の持ち手に袋をしばり「ライター」と書いて不燃ごみの回収日に出してください。



スプレー缶やカセットボンベの処分方法

穴を開けずに中身を完全に使い切ってから
カン・ビンの回収日に出してください。



確認しよう！ ごみの正しい分別と出し方

ごみの分別について今一度、各自確認しましょう。「ごみの正しい分別と出し方」が手元がない人は環境課へ問い合わせ、または二次元コードから確認してください。



「ごみの正しい分別と出し方」▶

ごみ出しのルールを守りましょう

・生ごみは水を切ってから捨てましょう



・ごみを捨てる日時を守りましょう

・新聞や雑誌、段ボールなどは古紙回収BOXを活用しましょう

※古紙回収BOXとは、民間事業者が古紙を資源として再利用するために、空地や駐車場などに設置される回収場所です。



環境課は広報紙などを通じて、市民の皆さまがごみの分別で困らないよう、適切なごみの処理方法について今後も情報発信を行ってまいります。また、関市ごみ分別アプリ「さんあ〜る」には収集日の通知機能や、品目別に分別方法が確認できる機能があり大変便利ですので、こちらもぜひご利用ください。



照会先 環境課 (☎23-6733)

